

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	住まいの共同化と安心建替え支援				所管	都市づくり部	
						住宅課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	昭和 6 2 年度	[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区住まいの共同化と安心建替え支援制度要綱			
	事業対象	個人、団体(開発事業者)					
	事業目的	土地の有効利用を促進し、良好な市街地環境を創出するための共同化や、地震や火災に強い建物への建替えを促進する事により、防災性の向上を目指した良好な住環境整備を推進し、安心して住み続けられるまちづくりを実現する。					
	事業内容	住まいの共同化と安心建替え支援事業の助成内容は、 共同化助成:空地要件及び共同化要件を満足する建替え(面積に応じて算定、人数加算、仮住居費加算) 三世代住宅助成:空地要件及び三世代要件を満足する建替え(120万円) 安心助成 :準防火地域内で安心要件を満足する建替え (耐火構造:240万円、準耐火構造:120万円。耐震加算:50万円)					
	委託の有無	なし	委託内容				
	補助金の有無	国					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	延べ助成件数	件	17	26	17	18
	成果指標						
	決算額	(単位:千円)			51,230	45,626	20,230
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			6,664	6,817	5,101
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	29	30
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			51,230	45,597	20,200
		総経費			57,894	52,443	25,331
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			51,100	4,533	8,640
一般財源(区負担額)			6,794	47,910	16,691		
前回評価から改善した事項	三世代住宅助成の要件に高齢者に対する配慮(バリアフリー、手すりの設置)と1部屋の最低面積(7㎡)を加え、良好な住環境整備を図った。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	三世代住宅助成は、歩道状空地を設置し住環境の向上に役立つとともに、三世代の同居により少子高齢化対策に貢献するため、必要性が高い。				
	効率性	3	防災上の安全性を改善している。コスト・効率性に大きな変化はない。				
	手段の適切性	3	歩道状空地の確保や定住化、市街地環境の向上及び木造住宅が密集する地域で防災上安全な住環境の整備に有効に機能している。				
	目的達成度	4	狭小敷地の解消、定住化、市街地環境の向上及び安全な住環境の整備を促進している。				
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
木造住宅の建替えや三世代同居を行う住宅の建築を支援することにより、防災性を高め、良好な住環境の整備と定住を促進するため、本事業を実施する。また、三世代住宅助成については、子育て支援を進めるための柔軟な対応を検討していく。					維持		